



News Letter

【VOL.10】

新潟県助産師会 会員数
203名
令和6年1月1日現在

会長挨拶

「ニュースレターの復活に寄せて」 会長 池田 かよ子

会員の皆様、日頃より本会の活動にご協力をいただきましてありがとうございます。

1月1日の能登半島地震においては、大変な被害にあわれ、心よりお見舞い申し上げます。日本助産師会では、能登半島以外に新潟県・福井県も災害時見舞金・支援助成金給付の対象県に該当することになりました。地区理事を通じて既にご案内しておりますので、該当される方はお申し出くださるようよろしくお願い致します。なお、給付請求権は、その発生から1年間ですので、速やかに対応くださるよう重ねてお願い致します。

さて、2020年のCOVID-19の爆発的な感染から2023年5月の5類感染症になるまで、長い長い3年間でした。その間、私たちは不安と不自由な生活を強いられ、大きな影響を受けました。また、本会の活動も自粛が続き、対面からオンラインという新たな形で研修会や委員会活動を継続して行ってきました。まだ完全とはいえませんが、本会の活動を以前のような形で2024年度スタートしたいと考えています。

その一つとして、休止していた「ニュースレター」を復活することにしました。ニュースレターでは、本会の研修会や各地区での取り組み、トピックスなどお知らせすることにより、本会をより身近に感じていただきたいと思います。

今後、ニュースレターの内容を充実していくために、会員の皆様からさまざまな情報をお寄せいただきますようお願いいたします！

いいお産の日報告

魚沼地区



令和5年11月10日(金)、イオン六日町店「子育ての駅 ほのぼの」において、令和5年度のいいお産の日のイベントを行いました。このイベントは毎年行っていて、参加の皆さんからは乳房ケアや育児相談などを助産師から直接対応してもらえ大変喜ばれています。写真はおんぶもっこの体験、計測風景です。リーフレットは新生児訪問時に配布しています。大きく拡大して各地区の子育て支援会場に掲示してアピールし、市の広報にも掲載して頂いています。



今年はまず時期と場所を早めに決めていこうから始まりました。いい季節に家族で行きやすい場所で心地よく過ごしてほしいと思ったのです。高田公園に隣接されているオーレンプラザは人気の場所ですから。それに早めのチラシの準備。今回のテーマは「2か月からの赤ちゃんこんにちは！」なので訪問時に早めに伝えておくことも大事です。内容は恒例になっているデコルテマッサージと育児相談ですので、デコルテマッサージの練習会も行いました。

当日は午前15組、午後5組の参加者ですがご夫婦で来られるので相談室は満杯でした。情報源は訪問助産師から12名、Instagram3名、友人2名ということです。皆さんほぼデコルテマッサージと相談ともに希望されておりました。2~10か月の赤ちゃんの参加があり、特に3、4か月が多いです。デコルテマッサージも毎年行っているため評価も高く、肩の疲れが取れたと大変好評でした。相談のほうでは、いくつか困りごとの質問を受ける中で、どんどん話も広がっていき様々な子育て方法の伝授となっていきます。何人もの助産師がいるので普段よりも話が弾んで、いいお産の日ならではのようです。

今年は特にパパも一緒に相談を受けたいと希望している方がほとんどでした。積極的に質問もされ、マッサージでほっとしているママを見たよかったですねと言われるやさしさにも触れられました。アンケートでも気持ちが楽になった、いろいろな人と話ができた、癒されたとの評価もいただきました。

いいお産の日を通し地区の助産師が集まると大きな力になることも感じました。また質問に答えるだけでなくこちらからいろいろな提案もできるし、助産師がそれぞれ得意分野で関われるためお互いの勉強にもなります。地区の助産師にとっても大切な行事になっていると思います。



10/15(日)に
開催しました!!



上越地区



爽やかな秋晴れの中、11月3日「いいお産の日」に、産後ケアハウス「ねんねこ」さんを会場にイベントを行いました。

各施設での妊婦指導（母親学級等）が、まだ通常通りに行われていない中、分娩やその後の育児に不安を抱きながら出産を迎える方も多くいらっしゃいます。その不安を少しでも解消できる様、夫婦と祖父母に参加を募り、最近の育児や子育てサポートについて、一緒に考える機会を作る事にしました。定員6組満員の申し込みと、祖父母、お子さん総勢18名の参加で、にぎやかな開催となりました。

会は2部に分けて行い、1部では、赤ちゃんのお世話・沐浴を3組ずつ交代で体験。2部では、育児について①こんな育児がしたい、②お産後に心配な事、③パパママそれぞれに望むことを書き出し、参加者全員で共有しました。その後、助産師より「産後の生活」についてのイメージや心構え、祖父母に対しては、最近の育児や産後のサポートのポイントをお話ししました。最後に、夫婦で産後の生活をお互いどのようにしていきたい可愛らしい紙に清書してもらいラミネート加工し持ち帰ってもらいました。

参加者からは、「沐浴や、産後の生活について学び直すことが出来てよかった」「ほかの夫婦の考えや、不安に思うことも聞け、自分だけではないと知れてよかった」や又、祖父母からは「時代が大きく変わったことを感じた」「一生懸命お手伝いしたい」など前向きな声が聞かれました。それぞれが、産後の生活や育児の実際をイメージできたのではないかと思います。スタッフ、参加者ともに満足できたイベントになったと感じています。

長岡地区



出生数が減少している中、参加者を増やすために、パパママだけではなく、祖父母や妊婦を支えてくれる家族みんなで赤ちゃんを迎える準備をするためのセミナーがあると良いのではないかと思います。今回『ふぁみりークラス』を計画し実施しました。沐浴体験、妊婦ジャケット体験、パパことを資料にしたパパセミナー、おまごブックと祖父母手帳を資料にした祖父母セミナーを行いました。

祖母が沐浴の体験をすることで、自分の出産の時は経験がなく、忘れていた記憶を戻せたと感想がありました。また、祖父の体験が2ケースあり、昔の考えで育児は母親がするというイメージを家族みんなで赤ちゃんを迎えるという雰囲気が感じられて良かったです。

夫からは、妊婦ジャケット体験をすることや、産後の生活のイメージをしてもらうことで、改めて妻のサポートの必要性を実感できたと感想がありました。

祖母の体験話を聞かせてもらい、また、日頃のママたちの声から、祖父母や夫にしてもらってうれしかったことや嫌だったこと（母乳育児の理解、抱き癖、上の子への声掛け、おやつとの与え方、はしの共有について）を伝え、今と昔の違いやママの気持ちを理解してもらうように意識しました。祖父母から、今と昔の違いを聞いて良かった、いろんな気付きもあり良かったと感想がありました。今回、経産婦が実家ではなく夫方の実家で産後を過ごすため、夫の両親を誘って参加してくれたケースもありました。参加者の雰囲気や、感想から、家族みんなで赤ちゃんを迎える準備教室の目的が達成できたように感じられて良かったです。

佐渡地区



新発田地区

令和5年12月3日に新発田市生涯学習センターにおいて「しばた人権フェスティバル」が開催されました。私達、新発田地区も「いいお産の日」のイベントとして今年も参加しました。「人権」って言われると難しいですが「人が人らしく生きる権利」私達は、女性とともに一生のそれぞれの時期によりそう助産師として毎年仲間に入れてもらい活動しています。

フェスティバル当日は、講演会や映画上映などの催しものと様々な団体のパネル展示が行われました。

私達は助産師の活動をアピールするため「胎児ちゃん人形」の展示、「思春期」「更年期」についてのパネル展示を行いました。胎児ちゃん人形は、子どもさんや大人にも興味をもってもらうことができ、自分の妊娠、出産の経験にも話はずみしました。思春期パネルでは「助産師は実際に小学校、中学校にも行ってお話しているんですよ」と性教育も助産師の仕事ですとアピールしました。更年期パネルでは、簡単な更年期チェックをしてもらったり、自覚症状を聞いたり、「ときめくもの」をさがしてみませんか、と過ごし方や対応など更年期を助産師と考えてもらいました。毎回私達は、このフェスティバルに参加することで助産師のことを知ってもらうこと、地域に助産師がいることをアピールする機会となっています。これからも地域の人とともに活動を行っていききたいと思います。

新潟地区



令和5年11月12日(日)新潟市西区「新潟ふるさと村」内ふるさと越後の家、ふるさとの家にて、新潟地区の「いいお産の日」を開催しました。実施内容は、沐浴体験・育児体験(抱っこ、オムツ交換)・妊婦ジャケット装着・抱っこ紐装着・スキンケアの動画上映などを行い、参加者は、妊婦さんとそのパートナー、家族、育児中の親子や家族で参加者数は43名。会員スタッフは24名でした。

沐浴体験では、沐浴体験一組につき助産師一人が対応し、同時に抱っこの仕方、オムツ交換も行った事でアンケートでも満足度が高く大変好評でした。沐浴体験は事前予約性としていたので、受付もスムーズに行え、また当日参加枠も設けたことで2組の参加も可能で参加者からも喜んでもらえました。「妊婦体験ジャケット装着」では、パートナーが装着し夫婦で盛り上がり、アンケートでは「妊婦生活の大変さ実感できた」と感想がありました。「抱っこ紐装着」は会員から数種類のものが集まり、付け方がわかる会員が指導に当たり、参加者から大変人気があり、会員スタッフにも勉強になるブースでした。「スキンケア動画」はガーゼを使わない沐浴の動画配信を行い、真剣に見入っている参加者が多数ありました。

課題としては、思ったより子供連れの家族参加が少なく、育児相談はなかった事。最後の沐浴体験をした人達が、終了後に抱っこ紐装着や妊婦ジャケット装着に回り開催時間をオーバーした為、時間配分を検討する必要がある事。

多くの会員がお手伝いに入ってくれたので、もう少し細かく役割分担してもよかった事。沐浴体験以外の集客はほとんどなく、どうしたら興味を持ってもらえるか、周知方法など来年度に向けて検討し、より良い「いいお産の日」イベントとなるように取り組んでいきたいと思ひます。

新潟地区の会員のご協力に感謝いたします。



燕三条地区

11月11日(土)三条市子育て拠点施設「あそぼって」を会場に、いいお産の日イベントを開催しました。三条市のオータムフェスタの開催に合わせて行い、当日は会場に遊びに来ていた親子など、41名が参加されました。

テーマは「子育て世代の災害への備え」と題し、楽しく参加できるような体験型を多く取り入れました。それぞれのブースは驚きの連続で大好評です。「このスリッパ、あったかいね。」「こうやって作るとサイズ変わるね。模様みたいで可愛いね。」とスリッパの子供用、大人用サイズや新聞のイラストを模様に見立てたり、どんどんアイデアも湧いてきます。また、普段使用したことのないおんぶ紐や避難時のリュックを担ぎ子どもを抱っこ、「実際だったらどうする?」と問いかけ、イメージを湧かせながら皆さん楽しく体験されていました。「普段からの準備が大切と思っても、なかなかねー。」と日々育児に忙しいママやパパからそんな声も聞かれます。今回の体験を通して少しでもこれからの備えに活かしてもらえたら嬉しいです。これからも多くの子育て世代の皆さんが参加できる「いいお産の日イベント」を会員みんなで楽しみながら作っていききたいと思ひます。

内容：災害マップで避難場所を確認しよう(ポスター掲載)・災害避難道具の展示と体験
新聞紙でスリッパ作り・ビニール袋でおむつ作り・おんぶ紐体験

※柏崎地区は今年度の取り組みはありませんでした

県助産師会事業

昨年9月に名称と電話番号が変わりました。
チラシもリニューアル!!

にいがた助産師そうだん
～赤ちゃん、子育て、妊娠、思春期、からだのこと～

妊娠やからだのことで悩んだら、ひとりで抱え込まずに相談を。

050-3146-9989

月～土曜 午後7時から9時まで
(祝祭日・年末年始のぞく)

新潟県助産師会が、新潟県の委託を受けて運営しています

[対象となる方]

- ・妊娠しにくい?と不安な方
- ・妊活の継続や終える時期で悩む方
- ・妊活終了後の悩みのある方

助産師による妊活なんでも相談

【日時】 毎月 第4土曜日 13:00～16:00

※ホームページや県助産師会のFace Bookでお知らせします

【方法】 **オンラインによる面談**

※ご予約いただきましたら接続方法をお知らせします。

当日も接続のサポートをいたします。

助産師は、性と生殖にかかわる専門職です。妊活中の女性やカップルの支援、不妊治療をはじめのかどうか、いつ治療を終了するか決める過程にも寄り添います。「自分らしさ」を大切にできる支援を心がけております。

なお、妊活相談員は、「不妊症看護認定看護師」又は「不妊カウンセラー」の資格を持ち生殖医療に関する知識とキャリアをもつ助産師が対応しています。

研修会のご案内



公益社団法人 新潟県助産師会 主催

令和6年度妊産婦・新生児・乳幼児等支援者研修会 ＜CLOCMiP@レベルIII選択研修＞

開催日：令和6年4月20日(土)・21日(日)
開催方法：対面(新潟医療人育成センター)
およびオンライン(ZOOM)によるハイブリット開催
※オンデマンド配信はありません



締め切り
4/10
24:00まで

学びとどける 助産師のケア

【1日目】令和6年4月20日(土)

| | | |
|-------|---------|---|
| 9:30 | (対面) | 会場受付開始 |
| 9:45 | (オンライン) | 入室開始 |
| 9:55 | | オリエンテーション |
| 10:00 | 開会 | 会長挨拶 新潟県助産師会 会長 池田 かよ子 |
| 10:05 | 講演 | 「新潟県の母子保健に関する統計および現状」 新潟県福祉保健部健康づくり支援課 母子保健係 |
| 10:45 | | 休憩 |
| 10:50 | 講演 | CLOCMiP@レベルIII選択研修 「小さく生まれた赤ちゃんの成長と生活をささえる ～運動発達と哺乳・食事への支援～」 神奈川県立こども医療センター医療技術・発達支援部 理学療法科 理学療法士 松波 智郁 氏 |
| 12:00 | | 休憩 |
| 12:50 | 報告 | 「ヒヤリハット報告」 新潟県助産師会 安全対策委員 吉原 祐子 |
| 13:00 | 講演 | CLOCMiP@レベルIII選択研修 「流産・死産等を経験された方への地域における支援について」 新潟大学医歯学総合病院総合周産期母子医療センター 助産師・母性看護専門看護師 森山 幸枝 氏 |
| 14:40 | | アンケート 終了 |

【2日目】令和6年4月21日(日)

| | | |
|-------|---------|---|
| 9:30 | (対面) | 会場受付開始 |
| 9:45 | (オンライン) | 入室開始 |
| 9:55 | | オリエンテーション |
| 10:00 | 開会 | |
| | 講演 | CLOCMiP@レベルIII選択研修 「妊産婦さんファミリーに温かいケアがやってくる！ ～時と場所を超えた周産期メンタルヘルスのニーズと実践～」 万代メディカルクリニック 医師 茂木 崇治 氏 |
| 11:35 | | アンケート 終了 |

公益社団法人 新潟県助産師会 主催

公益社団法人新潟県助産師会主催

講演会

講演

向きぐせは 本当にくせなのか？

～頭蓋変形を心配する親の気持ちと
対処方法・ヘルメット治療の実際～

講師：磯部 賢諭 氏
(キャッツこどもクリニック院長)

【日時】 5月14日(火) 13:30～15:30

【会場】 看護研修センター3階大研修室

新潟市中央区川岸町2-11

(※駐車場は、ありませんので公共交通機関のご利用をお願いします。)

【開催方法】 対面のみ

【対象及び参加費】 新潟県助産師会会員 1,000円
会員以外(助産師・保健師・看護師) 2,000円
助産師学生 無料
※受付にて当日、現金を徴収いたします。

新潟県助産師会
講演会案内



【お申込み方法】 新潟県助産師会ホームページよりお申込みください。

申込み締切は 5月7日(火)です。

※申し込み確認メールが届かない場合は助産師会事務局までお問合せください。
研修会資料は当日受付にてお渡します。

【当日スケジュール】

| | 5月14日(火) |
|-------------|--|
| 10:00～12:00 | 令和6年度通常総会(会員のみ) |
| 13:00～ | 受付開始 |
| 13:30～13:35 | 挨拶 公益社団法人新潟県助産師会会長 池田 かよ子 |
| 13:35～15:20 | 講演 「向きぐせは本当にくせなのか？」 講師 キャッツこどもクリニック院長 磯部 賢諭 氏 |
| 15:20～15:30 | 質疑応答・アンケート記入・終了 |

詳細はHPを
ご覧ください♪
お申し込みはお早めに。
ともに学びましょう!!



ご寄付のお願い

新潟県助産師会の活動にご賛同くださいますよう皆様からの
温かいご支援をお願いいたします。

＜お問い合わせ ☎ 025-267-9772＞

広告掲載募集中

＜お問い合わせ ☎ 025-267-9772＞

公益社団法人
新潟県助産師会

会員の方

メニュー



ホームページを随時
更新しています！
定期的にご確認ください◎



新潟県助産師会

検索



＜編集後記＞

ニュースレター10号をお届けします。今号は、各地区での『いいお産の日』の取り組みをご紹介しました。
どの地区も笑顔が溢れていて、温かい気持ちになりました。執筆して下さった皆様の御協力に感謝申し上げます。
今後も新潟県助産師会の活動を広く知っていただくために、ニュースレターを不定期で発行していく予定です。
どうぞよろしく願いいたします。取り上げてほしいテーマ・内容のご要望がありましたらお知らせください。
また、ご投稿をお待ちしております!!

(広報委員会:佐久間・青木)

新潟県助産師会ニュースレター第10号 2024年3月

発行人 公益社団法人新潟県助産師会 会長 池田 かよ子
広報委員会

〒951-8133 新潟県新潟市中央区川岸町2丁目11番地

(TEL) 025-267-9772 (FAX) 025-265-1345

(HP) <https://niigata-midwife.jp>

